

II

病院・滞在施設見学

Lewis Rathbun Center

(ルイス ラスバン センター)

日 時 2007年9月26日(水) 16:00~17:30

所在地 121 Sherwood Rd. Asheville, NC 28803

TEL 828-251-0595 FAX 828-251-0598

ハウスは空気の良い緑豊かな環境の中にある。館内に入るとすぐ広々とした受付があり、ボランティアたちがあたたかく利用者を迎えてくれる。天井が高く吹き抜けになっており明るく開放的である。白を基調にした壁や家具の中に色の濃いソファやベッドが置かれ、品があり落ち着いた雰囲気をかもし出している。



ラスバンセンター正面

- ハウス概要** 1994年9月12日開設。
開設以来13,000組以上の家族が利用している。
- 建物** 地上2階、地下1階
- 部屋数** 25部屋+Day room 3部屋(日中に休息するための部屋)
- 設備・備品** ベッド・バス・トイレ・電話(テレビは共用部のみ)
- 共用部** キッチン・ダイニング・テレビルーム(22:00までそれ以降はダイニングのテレビを利用)・図書室(パソコン設置)ランドリー(各階)・エレベーター
- 地下** 医療補助のために遠方から来る看護師(Visiting nurse)が宿泊できる部屋が用意されている。また、障害者用の部屋がある。ミーティングルームは、医師の会合や理事の話し合いに利用。また、地域住民にも有料で貸し、利用料を運営費にあてている。がんの治療後のケアのため、相談室も設置されている。地下は、現在病院が管理している。数年後にはハウスの管理になる予定。

利用について

対象病院	St. Joseph's Hospital (セントジョセフ病院) 他近隣病院
利用対象	患児・患者とその家族
利用人数	1 家族 4 人まで
地理的条件	Buncombe Country 居住者以外 これまで全米 43 他州, 海外 5 カ国より利用を受け入れた
申込み方法	病院のソーシャルワーカー・礼拝堂牧師・医師がハウスに連絡
利用料	無料 (受付・宿泊室に寄付案内と専用の封筒が置いてある)
利用期間	30 日 (例外あり) 新生児は 2 週間で退出, その後は 1 ヶ月間隔をあけて 2 週間の利用の繰返し
利用者支援	電話 (町内コーリングカード等)

その他

- ・ 病院は歩ける距離だが, 1 日 4 回シャトルバスでの送迎をしている。
- ・ 宿泊室の清掃は, 各利用者が行う。チェックアウト後にボランティアがチェックし, 必要に応じ清掃スタッフ (外部委託) が行う。

スタッフについて

ディレクター, ハウスマネージャ, 平日夜のハウスマネージャ, 週末のハウスマネージャ, ボランティアコーディネーター等 4 人の常勤と 1 人の非常勤で運営している。清掃は外部業者に委託 (週 5 日のパートタイム)。

ボランティア

100 人近くがボランティア登録している。受付ボランティアは, 9:00~21:00 まで 3 時間交代で 2 人ずつ, 1 日に計 8 人が担当。利用者のチェックイン, ハウス案内を始め, 電話対応, チェックアウト後の宿泊室のチェック, 事務補助などさまざまな活動をしている。



ゆったりとしたベッドルーム

St.Jude Children's Research Hospital

(セントジュード 子どもリサーチ病院)

日 時 2007年9月28日(金) 9:40~10:30

所在地 501 St. Jude Place, Memphis, TN 38105-1942

TEL 1-800-822-6344

応対者 Ms. Lin Ballew (パブリックインフォメーションコーディネータ)

1957年喜劇俳優ダニー・トーマス (Danny Thomas 1912~1991) 氏の発案により「人種、宗教、保護者の経済力に関係なくすべての子どもが治療を受けられる病院」設立のための基金団体 ALSAC (American Lebanese Syrian Associated Charities) が立ち上がり5年の準備期間を経て1962年 St. Jude Hospital が設立される。その理念は現在も継承され、治療費、患児と付き添いの交通費、滞在施設宿泊費は無料となっている。



St. Jude 病院

治療は、18歳以下で St. Jude で研究されている病気 (小児がん、その他の小児難病、肺炎、結核、小児 AIDS 等) の患児が対象となる。地元の病院からの紹介で来院し、検査の上治療対象と決まると、個人の治療計画がたてられる。地元の病院や、地元近くの連携のある病院で治療可能な場合は St. Jude の治療計画によりそちらで治療を受ける。病院は60床。自宅および周辺の滞在施設からの通院治療が主で、毎日平均1日150人も患児が通院している。

施設について

病棟

子どもの視線に合わせて受付カウンターを低くする、廊下に明るい色彩で絵を描く、ストレッチャーで移動する子どものために天井に絵を描くなど、設備に工夫がされている。



メディスンルーム

1) メディスルーム

2時間以内の治療は、患児と付き添い者が座れる椅子のある部屋で行われ、1度に12人が治療を受けられる。テレビ・ビデオ・DVDが患児の各椅子から見やすいところに1つずつ設置してある。2時間以上の治療には個室が用意され、テレビ・ビデオ・DVDに加えオーディオも設置。患児だけでなく付き添いの家族の過ごしやすさを考え、家族全体を支える配慮をしている。

2) 院内学級

5歳(Kinder)から高校3年生まで地元校で使用している教科書で学んでいる。教員6名。転入等の手続きは不要で1日からでも院内学級に通うことができる。地元の教員と連絡を密にとり、退院の際スムーズに地元校に戻れるよう、十分に準備をする。今年初めて患児と兄弟のためにALSAC Pavilionで“Prom”(盛装で行われる高校卒業のダンスパーティ)も開催された。

研究棟

80カ国以上より研究者が集まり、148のラボラトリーで先進的な研究を重ねている。研究棟で開発された薬品を病棟の治療で使用する。研究者でノーベル賞受賞者もあり、インフルエンザ研究でも世界をリードしている。

展示館 (Danny Thomas ALSAC Pavilion)

ダニー・トーマス氏の病院設立への理念や概要がわかる展示館。様々な集会やパーティ会場としても使われている。

通院治療を支える滞在施設

病院近くの滞在施設は治療計画と期間によって利用のハウスが分かれている。

①Memphis Grizzlies House	短期	1日～7日
②Ronald McDonald House of Memphis	中期	7日～3ヶ月
③Target House	長期	3ヶ月以上

病院とハウスをつなぐシャトルバス

1日数回、ハウスと病院とを行き来するシャトルバスが運行され、ハウスと病院とをつないでいる。病院以外にも週に数回、近くのスーパーマーケットへの送迎も行い、家族の生活を支えている。



ターゲットハウスのシャトルバス

Memphis Grizzlies House

(メンフィス グリズリーズ ハウス)

日時 2007年9月28日(金) 10:30~11:30

所在地 St. Jude Children's Research Hospital's campus

350 North Third St. Memphis, TN 38105

TEL 901-544-8200 FAX 901-544-8245

応対者 Ms. Lin Ballew (パブリックインフォメーションコーディネータ)

3 滞在施設中, セントジュード病院に一番近く病院の敷地内で徒歩 3 分程。滞在 7 日までの短期の利用者が対象のハウス。地元 NBA バスケットボールチームのグリズリーズが建築費 50%を出資, 2002 年 9 月開設された。ハウスには, グリズリーズのマスコットの「灰色グマ」やバスケットボールをデザインした看板やテーブルがあり明るい雰囲気。外にはバスケットのハーフコートなども設置されている。短期滞在用のハウスだが, フィットネスルームやティーンルーム, プレイルーム等も充実しており居心地の良い環境を提供している。



バスケットボールのテーブルが楽しいダイニング

ハウス概要

建物	70,000 平方フィート
部屋数	100 部屋 (内スイートルーム 36 部屋)
設備・備品	ベッド・リネン・バス・トイレ・テレビ・パソコンケーブル DVD・貴重品用金庫・時計・ドライヤー
共用部	ダイニング・ファミリールーム・ランドリー・ティーンルーム パソコンルーム・テレビルーム・フィットネスルーム・バスケット ハーフコート・プレイグラウンド

利用について

対象病院	St. Jude Children's Research Hospital (セントジュード子どもリサーチ病院)
利用対象	患児とその家族 (保護者)
利用人数	1 家族 4 人まで

地理的条件	35 マイル以上
申込み	病院の「患者サービス」に申し込むと、ソーシャルワーカーよりハウスに連絡が行く
利用料	無料
利用期間	1日～7日（病院に近いので、日数に関わらず病状が深刻な家族に利用してもらうこともある）
利用者支援	ミールチケットの配付・自販機が無料のカードを配付 毎週 80 ドルのギフトチケット配付 病院と自宅の往復交通費。（患児・付き添い 1 人にも支給）

その他

- ・子ども(患児・兄弟児)を 1 人にしないようお願いしている。
- ・感染症の場合は利用不可。利用中に風邪にかかった場合は共用部に出ない病院の医師より説明を受けており、一番大切なのは患児ためと十分に理解しているので心配はない。
- ・利用は 4 人まで。それ以上になる場合はモーテルやホテルを紹介している。
- ・遠方から来た家族に、良い環境を与える為スイートルームを準備する。
- ・医師と両親の話し合いのときにもスイートルームを用意し、患児・兄弟と別な部屋で話が聞けるように配慮している。
- ・ソーシャルワーカーより連絡が入り特別な場合以外は、部屋の準備に関して特別に配慮はしない。ホテルと同じ様に空いている部屋を準備する。
- ・プレイグラウンドの床がクッション素材になっている。また、不潔にならないように水はけの良い素材を使用し、子どもたちが安心・安全に過ごせるように配慮している。



安全に配慮したプレイグラウンド

スタッフについて

ハウスの運営に関しては、地元メンフィスの企業、ウィルソンホテルが全面的にマネジメントしている。ハウスマネージャや清掃スタッフがいる。ボランティアはいない。

Ronald McDonald House of Memphis

(ロナルドマクドナルドハウスメンフィス)

日 時 2007年9月28日(金) 14:30~16:00
所在地 535 Alabama Ave. Memphis TN 38105
TEL 901-529-4055 FAX 901-523-0315
応対者 Ms. Sherri Bushong Maxey (ハウスマネージャ)

セントジュード病院の3滞在施設中、中間の期間、1週間以上~3ヶ月ほどの治療が必要な家族のためのハウス。1991年開設。2006年に27部屋増築して51部屋を有している。広々とした館内は、子どもたちが自由に動き回れる開放感がある。増設したために、キッチン・ダイニング・リビングなど各2ヶ所ずつあり、家族間で交流できる場所がたくさん確保されている。



広々とした受付~ボランティアが笑顔で迎えてくれます~

ハウス概要

建物 地上2階建て
部屋数 51部屋(全世界のマクドナルドハウスで3番目の規模)
設備 ベッド2台・バス・トイレ・クローゼット・テレビ・ラジオ
共用部 ランドリー×3・リビングルーム・プレイルーム・ティーンルーム
クラフトルーム・ダイニング×2・キッチン×2・チャペル

利用について

対象病院 St. Jude Children's Research Hospital
(セントジュード子どもリサーチ病院)
利用対象 患児とその家族(保護者) 利用人数 1家族 4人まで
地理的条件 35マイル以上
申込み 病院の「患者サービス」に申し込むと、ソーシャルワーカーよりハウスに連絡が行く
利用料 寄付として5ドル/日 支払える場合のみ
利用期間 7日以上~3ヶ月 (治療期間延長の場合は必要な日数)

利用者支援 週に2～4回の食事サービス

自販機 ドリンク 25セントで購入可（コカコーラ）

シャトルバスの運行（通院・週に1回スーパーへ送迎）

スタッフについて

広いハウスを運営管理するために、20人以上のスタッフ（パート含む）がおりその一人ひとりに役職名がついている。利用者がチェックインする際、ハウス内で安心して過ごしてもらえるように、他の案内書類と共にスタッフ全員の氏名と役職を顔写真入で紹介したものが手渡されている。

ボランティア

100人ものボランティアがハウスを支えている。受付で利用者のチェックインや案内をするシフトボランティアは9:00から21:00まで各4時間3交代で行う。その他に、週に2～4回の夕食のボランティア（Dinner host）、さまざまなイベントごとのボランティア、寄付やボランティアを集める“ボランティア大使”など、活発な活動がハウスを支えている。

子どもたちの手形

キッチンの壁一面には、利用の子どもたちの大小、色とりどりの手形が押されている。チェックアウトの時に患児が押して帰るとのこと。初めて利用した時の小さな手形の横に成長して大きくなった手形が並んでいるものや、周囲にメッセージの書き込まれている手形もあり、利用者の思いのこめられたスペースである。



子どもたちの手形が鮮やかなキッチン

病院を支えるハウス間の連携について

セントジュード病院の利用者はその時の治療期間により、3つのハウスを利用する。そのために3つのハウス間で基本のルールにあまり差がでないようにしている。

ターゲットハウスのハウスマネージャとは毎日のように、頻繁に連絡を取り合いハウス間の連携を大切にしている。また、NAHHHの会員にはなっていないが、1年おきに交代でマクドナルドの全体会議とNAHHHの会議に参加しているとのこと。

Target House

(ターゲットハウス)

日時 2007年9月28日(金) 13:00~14:00

所在地 1811 Poplar Ave. Memphis, TN 38104 TEL 901-545-0213

対応者 Ms. Joe Ann Williams

門を入ると広々とした敷地内に、家族を象徴する象のモチーフの噴水と駐車場があり、その奥にどっしりとハウスが建っている。

セントジュード病院で3ヶ月以上の長期治療が必要な家族が利用するハウス。ターゲット社の寄付により1999年に1棟目が建てられ、さらに2001年、中庭をはさみ2棟目が建てられ合計100部屋100家族の利用を可能にしている。



ターゲットハウスの正面入口

アパートメントタイプになっており、各部屋で料理ができる。病院から少し離れているためシャトルバスが用意されている。病院までの送迎の他、週に1~2回スーパーマーケットまでの送迎も行われている。

ハウスの象徴の“象”

入り口前の噴水、パンフレット等に象の絵を用いているとともに、館内には、利用者や寄付者などさまざまな人が描いた象の絵が額に入れて飾られている。象は長生きする動物であり、仲が良く家族で動く、また仲間同士も群れをなし助け合って暮らしていることからハウスの象徴としている。

ハウス概要	1棟目 1999年	2棟目 2001年
建物	地上5階建て	
部屋数	96部屋 寝室が2部屋あるアパートメントタイプ 4部屋 戸外から直接部屋に入れるアイソレーションルーム	
設備・備品	ベッド(ツイン×2 クイーン×1)・ユニットバス・キッチン(調理器具・食器) ダイニングテーブル・テレビ・ソファ	
共用部	ランドリー・リビングルーム・ダイニング・キッチン・図書室 プレイルーム・ティーンエイジャールーム・スパ・パティオ	

ミュージックルーム・ファミリーアクティビティルーム・プレイ
グラウンド・アートクラフトルーム・リラクゼーションルーム
(共有部には寄贈した著名人の名前のついた部屋もある)

利用について

対象病院	St. Jude Children's Research Hospital (セントジュード子どもリサーチ病院)
利用対象	患儿とその家族(保護者) 利用人数 1家族 4人まで
地理的条件	35マイル以上
申込み	病院の「患者サービス」に申し込むと、ソーシャルワーカーよりハウスに連絡が行く
利用料	無料
利用期間	3ヶ月以上で必要な日数
利用者支援	ダイニング・パティオ等でイベント時食事サービス 自販機 無料のカード配付 毎週100ドルのギフトチケット配付(生活用品は各自で購入) シャトルバスの運行(通院・週に1度スーパーへ送迎)
その他	<ul style="list-style-type: none">・免疫の低い患儿の感染対策としてアイソレーションルームを設置・週に1回、各個室の衛生状況をスタッフがチェックする。・週に1回、スタッフがバスルームを除菌清掃する。

スタッフについて

ハウスマネージャ、オフィスアシスタント、フロント(パートタイム)、清掃スタッフ等14名ほどが勤務している。

ボランティア

たくさんのボランティアがハウスを支えている。プレイルームの整理整頓。パンケーキブレックファーストやバーベキュー等のイベントの手伝い、大掃除などさまざまな活動をしている。ミュージックルームやクラフトルームで子どもの指導するインストラクターもボランティア。企業などの大人数での参加を希望する場合はハウスで用意した活動内容のウィッシュリストの中から選んで活動してもらう。企業側から活動内容の提案を受けることもある。



ティーンルーム

Ronald McDonald House
near University of Chicago Comer Children's Hospital

(シカゴ大学コーマー子ども病院近くのマクドナルドハウス)

日 時 2007年10月1日(月) 10:00~11:00
所在地 845 East 57th St. Chicago, IL 60627
TEL 773-324-5437 FAX 773-324-8029
応対者 Ms. Mardelle Gundlach (ハウスマネージャ)

シカゴ大学病院近くに1986年9月12日にできたハウスで、この20年で7,700家族の利用があったとのこと。新ハウスを建設中で、現在は仮のハウス。館内には、子どもたちが描いたハウスの絵が額に入れて飾られていたり、手作りの部屋のプレートなどが掛けられている。スタッフ・ボランティアの手の行き届いたあたたかい雰囲気のあるハウスである。



絵本：『やさしさの木の下で』をプレゼント

ハウス概要

建 物	3階建て(現在新ハウス建設中)
部屋数	18室,
設備・備品	ベッド・トイレ・リネン・電話
共用部	キッチン・ダイニング・ランドリー・バスルーム(各階3ヶ所) ラウンジ・パソコンルーム・テレビルーム

利用について

対象病院 **University of Chicago Comer Children's Hospital**

(シカゴ大学コーマー子ども病院)

利用対象 **20歳以下の患儿とその家族(保護者)**

子どもの時に発症、年齢を超えても親の保護下であれば利用可
患儿の親であっても18歳以下の場合、患儿の祖父・祖母等も
一緒に利用する。(マクドナルドルールより)

利用人数	部屋の大きさによる（1家族1部屋 ケースバイケースで2部屋）
地理的条件	10 マイル以上（世界各国より利用あり）
申込み	初回は病院ソーシャルワーカーより。以降は直接申し込み可
利用料	寄付として5ドル/日 支払える場合のみ
利用期間	治療に必要な日数（これまでの最長7ヶ月）
利用者支援	
食事	週に3～4回食事サービス・シリアル・缶詰等食品の寄付も常備 週に1回アイスクリームの寄付・自販機 25セントで購入可
電話	市内電話代無料・テレフォンカード配付
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども(患児・兄弟児)を1人にしない。 ・感染症の場合は利用不可。(利用中に風邪にかかった場合は共用部に出ない) ・大人の患者やその家族でも、事情によっては休憩でハウスを利用することができる。宿泊は不可。

スタッフについて

ハウスマネージャ (9:00～17:00),
アシスタントマネージャ, 事務担当
コーディネーター, レジデントマ
ネージャ, 週末担当マネージャ,
清掃スタッフがいる。



使い勝手がよく清潔なキッチン

ボランティア

25名が、1日3時間交代で受付を
担当し、チェックイン案内、食事サ
ービス、イベント、共有スペース掃
除等の活動をしている。

新ハウスについて

現在建設中、2007年11月オープンの予定。土地30,000平方フィート（初めのハウスの倍の大きさ）に現在の部屋数より4部屋増設して22部屋。各部屋のサイズを大きくしバスルームを設置。15部屋は最大5名まで宿泊可能になる。共有部分には、祈りの部屋・ティーンルーム・ゲームルーム・コンピュータールーム・暖炉・広い庭・駐車場等を設置。開設当初からハウスに関わってきたハウスマネージャの話から、利用者の使いやすさが考慮された新ハウスのオープンを楽しみにしている気持ちが伝わってきた。

Ronald McDonald House ~Sleep Rooms~

(マクドナルドハウス ~スリープルーム~)

日時 2007年10月1日(月) 11:00~12:00

所在地 Comer Hospital 2nd Floor #210K

TEL 773-834-4859 FAX 773-324-8029

対応者 Ms. Shirley Moran (アシスタントマネージャ)

ハウス概要

シカゴ大学コーマー病院内2階NICU病棟のマクドナルドハウス。部屋数7部屋。主にシャワーと寝るための部屋としてベッド・シャワー・トイレが設置され2人宿泊できる。共有部には、ランドリー・自動販売機がある。

食事や休息には、メインハウスであるマクドナルドハウスを利用することができる。申込みはソーシャルワーカーよりマクドナルドのハウスマネージャに連絡が行く。連続して利用する場合も、毎日11時までにスリープルームの受付まで利用の申込みをする(部屋の空き状況と優先者を毎日確認するため)。満室時はウェーティングリストに登録。空いていれば、メインハウスに宿泊することもできる。

※利用に関してはメインハウスに準ずる。

(月)~(金) 9:00~21:00

(土)(日) 10:00~16:00



コーマー子ども病院

勤務体制は、9:00~17:00勤務とパートタイマーが17:00~21:00勤務

Child Life and Family Education Program

病院内では子どもたちのケアの一環としてアートや遊びを通してのセラピーを行っている。そこで、週3回アートセラピストとして勤務している青木依子氏(通訳の方の奥様)に話を聞くことができた。

- ・部屋は、アートスペース・ティーンスペース等にわかれているが、スタッフの部屋から、状況を把握できるようガラス張りになっている。
- ・治療については、必要な事として無条件で受けなければならないが、ルームに来て、担当者と向き合う・話をする事については、患児が自分で選び決める事ができる。辛い検査と治療中の患児が他の人から尊重、理解されていると感じられる貴重な機会であるのでとても大切なことと考えている。

Ronald McDonald House near Children's Memorial Hospital

(子ども記念病院近くのロナルドマクドナルドハウス)

日時 2007年10月1日(月) 14:30~16:00
所在地 622W, Deming, Chicago, IL60614
TEL 773-348-5322 FAX 773-348-7619
応対者 Ms. Shari Capaldi (ハウスマネージャ)

マクドナルドハウスとして2番目に歴史の古いハウス。1977年に、古い民家を修復して開設。ハウスの周りには色とりどりの花が咲きボランティアが丹精こめて手入れする緑豊かな庭が印象的である。民家の時のオリジナルの居間が今でも残しており家庭的なあたたかい雰囲気を利用して迎えている。キッチンスペースは、3つの調理台の真ん中にテーブルが置かれており、調理をしながら話ができるハウス内で一番の集いの場所とのこと。



緑豊かな美しい庭が、利用の家族を迎えるハウス

ハウス概要

建物	地下1階 地上3階
部屋数	21部屋 4人部屋・1人部屋
設備・備品	新棟は部屋にバスルーム付
共用部	キッチン・リビング・ダイニング・プレイルーム・ランドリー パソコンルーム・テレビルーム・パティオ (バーベキュー設備) 共用バス

利用について

対象病院	Children's Memorial Hospital (子ども記念病院)
利用対象	20歳以下の患儿とその家族(保護者) 患儿の親であっても18歳以下の場合は、患儿の祖父・祖母等も一緒に利用する。(マクドナルドルールより)
利用人数	部屋の大きさにより異なる
地理的条件	10マイル以上(世界各国より利用あり)

申込み	初回は病院ソーシャルワーカー・病院の入退院係より 以降は直接ハウスへ申し込み可
利用料	寄付として 5 ドル/日 支払える場合のみ
利用期間	治療に必要な日数 平均 9 日
利用者支援	食事サービス・寄付品の食品有り (シリアル・缶詰等) 自販機 25セントで購入可 (コカコーラ)

その他

- ・運営資金は一般から寄付を募り運営している。寄付をもらう時にマクドナルドハウスという名前を使わせてもらうことはやはり有用であると思っている。
- ・利用者が増えている。ほぼ毎日、待機リストの家族が利用を待っている。
- ・シカゴは会議の町なので、ホテルは予約が取りにくい上宿泊料も高い。
- ・食事については、1日中病院に付き添っているの、疲れて帰ってきた利用者に食事を作って待っていてあげたいとハウスでは考えていて、ほぼ毎日 (週 6 日) 夕食のボランティアが支援に来ている。

スタッフについて

ハウスマネージャは1人で 8:30~16:30 勤務 (住み込み)。病院とのコミュニケーション、ハウスの維持管理、寄付金集めなど全てを統括している。その他、パートスタッフ2人。オフィスコーディネーター、ボランティアコーディネーター、アシスタントマネージャ等。清掃スタッフはフルタイム2人、パート2人配置している。

ボランティア

200名ものボランティアがおり、有給のボランティアコーディネーターが、コーディネートを担当している。ボランティアの活動は、受付 9:00~21:00、週末のチェックイン案内、食事サービス (週6日)、イベント (Baking Night・Art Night・Story Night) などさまざまな活動をしている。

今年からボランティアに賞を授与することにした。第1回目の受賞者としてハウス開設以来ずっと花や植木の手入れを続け、利用者や近隣の人たちにも親しまれている男性が選ばれた。



プレイルームには楽しいおもちゃがいっぱい

Illinois Medical District (IMD) Guest House Foundation

(イリノイ・メディカルディストリクト・ゲストハウス財団)

日時 2007年10月2日(火) 15:00~16:30
所在地 Illinois Medical District (IMD) Offices
600 South Hoyne, Chicago, IL 60612
TEL 312-942-1253 FAX 312-633-3438
応対者 Ms. Marianne F. Floriano (エグゼクティブ ディレクター)

IMD ゲストハウスは「Illinois Medical District」と呼ばれる病院や研究機関が集まった地区にある。そのうち3つの病院の患者とその家族にハウスを提供している。1999年より一軒家のハウスを開設したいという運動が始まった。病院も賛同し、2005年に医療関係者が使用するアパートを3室提供することから始まり、各病院に賃貸料を支援してもらいながら現在9室をハウスとして利用している。いずれ、23部屋の独立したハウスを作ることを目指して資金を集めている。現在職員はFloriano氏1人だが、資金集めから建物管理など全ての業務をこなしながら、家族の為によりよい環境のハウスを作りたいと奮闘している。



ハウスの説明と将来の展望を語る Marianne さん

ハウス概要 2005年10月開設 アパート賃貸
部屋数 9室
設備・備品 簡易キッチン・クローゼット・ベッド・ケーブルテレビ
電話・ユニットバス・ランドリー

利用について

対象病院

Rush University Medical Center (ラッシュ大学メディカルセンター)	3部屋
John H. Stroger Jr. Hospital of Cook County (クック郡病院)	2部屋
Univ.of Illinois Medical Center at Chicago (シカゴ地区イリノイ大学メディカルセンター)	4部屋

利用対象 患児・患者とその家族

利用人数 1 部屋 1 家族(場合によって 1 室に 2 家族利用することもある。)
申込み 病院のゲストサービスが予約・鍵の受け渡しを行う。
利用料 1 泊 40 ドル ※支払えない場合は支払える最低金額でよい
利用期間 制限無し
利用者支援 (例) お金がまったくない家族に病院に相談して病院のカフェの
ミールチケットを寄付することもある。

スタッフについて

エグゼクティブ ディレクター 月～金 9:00～17:00
清掃スタッフ(パートタイム) 1 人 週 10 時間 9:00～13:00 の間

ボランティア

日常的にはいない。イベント時のボランティア (約 50 人)

NAHHH との関わりについて (NAHHH 会員)

ハウスを作るにあたって、どれくらいの予算がかかるのか、メールで相談すると全会員に質問内容を配信してくれるので、会員から直接情報がもらえる。そのほかにもウェブサイトの作り方を聞いたり、ホームページのいろいろな研究資料を参考にする。今回の NAHHH カンファレンスには資金がなく参加できなかった。

その他

- ・シカゴではホテルの宿泊料が 1 泊 180 ドル以上が相場で負担が大きい。
- ・理事は 7 名 (銀行の頭取など)
- ・2 ヶ月に 1 回、理事会を行う。
- ・ハウスキーパーは患者家族に直接接触するため、家族に一番近い非常に重要な存在。現在、まだ賃貸アパートなのでスペースがなく、ボランティアや寄付の物品を集めるといことが難しい。
- ・病院によって患者の特徴がある。クック郡病院は保険をもたない低所得者層の患者も受け入れている。



この建物の中の 9 部屋を運営。